

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

17-4

勅
員
對
瑞
南
ス
冬
謀
長
口
演
厚
旨
昭
八
年
六
月
二
日

国立公文書館	
分類	(返) (赤)
配架番号	3 A
	14
	17-4

17-4

17-4

秘 (規則通用)

動員警備ニ關スル參謀長口演要旨

SHIPPING SLIP # 10120
SACK #
ITEM # 35

10

紙數一四葉

昭和八年六月二日
第七師團司令部

動員警備ニ関スル參謀長口演要旨

第一 動員ニ就テ

戦争準備殊ニ動員ノ計畫準備ヲ完全ナラシムルノ切實ナルハ
今更喋々ヲ要セサルモ 兵備ノ改善補備教育ノ實施ニ鑑
ミ現下時局ノ情勢ニ對スル當局ノ重大決意ヲ窺フニ足ルモアリ
本年度動員ノ査閲ハ目下尚未ク實施ノ途中ニアルヲ以テ
細部ニ関シテハ各部隊査閲終了ノ後新見ヲ闡示スヘキモ
既ニ提出セラレシ各隊動員計畫並既ニ動員査閲ヲ
實施セル部隊ノ情況ニ徴シ必要ナル事項ニ就キ所

見ヲ述ヘントス

一、動員主任者ノ養成

計畫ノ完備ハ主任者ニ適任者ヲ得ルヲ以テ先決トス
故ニ各隊ハ奴カメテ同一計畫主任者ヲシテ業務
ヲ繼續セシメ且適時ニ後継者ヲ養成シ行ク如ク永
年ニ亘ル計畫腹案ヲ確定シ置クヲ肝要トス
昭和八年度ノ計畫ハ既ニ之ヲ完了シタルモ補充交代員ノ
派遣ニ伴ヒ逐次ニ修正ヲ要スルモノアリ又昭和九年
度ニ於テハ混成旅團ノ歸還並編成裝備動員完結

日数等本年ト趣ヲ異ニスル點多々生スヘキヲ以テ特ニ明年
度動員計畫ノ業務ニ任スルモノハ今ヨリ十分ナル研究
ヲ遂ケ置カサルヘカラス 故ニ各隊ニ於ケル計畫主任者ニ
對シテハ特ニ指導ニ関シ配慮セラルルト共ニ爲シ得ル
限リ研究準備ノ機會ヲ與フル如クセラレ度

二、將校ノ戰時職務意見

野戰部隊ノ能力向上ノ爲ニハ軍隊ノ殊ニ在郷將校
以下ノ練成ニ俟ツヤ論ナント雖モ之ヲ動員計畫上ノ
見地ヨリスレハ幹部ノ適材ヲ適所ニ充用シ部隊ノ

性質ニ應シ役種ノ配當ヲ適切ナラシムルニアリ
將校同相當官ノ戰時職ノ決定ハ平時ハ動モスレハ輕視
セラレ易ク動員實施ニ方リ初メテ適不適ニ關スル意
見出テ之ヲ交代スルノ必要ヲ生シ時トシテ思ハサル不
祥事ヲ生スルノ例アリ

殊ニ在郷士官ノ配當ヲ適切ニスルハ動員計畫上最
モ重要ナル着眼點ナリ而シテ在郷者ノ戰時職決定
ノ基礎ハ各聯隊區ヨリ提出スル意見ニアルヲ以テ各
聯隊區ニ於テハ平時種々ノ點ニテ彼等ト接觸ノ機會

ニ於テ戰時職ニ關スル基礎アル觀察ヲ遂ケ其結果
師團ニ對シテ權威アル意見ヲ提出セラレ度先般
在郷士官ノ考科表ヲ聯隊區ニ移サレシモ一ハ此要求
ニ基キタルモノナリ

尚將來各隊ニ於ケル幹部候補生ヲ銓衡ニ當リテモ
單ニ「戰時ノ小隊長ニ適ス」ト謂フカ如キ淺薄ナル
程度ニアラスシテ「何々戰列部隊ノ小隊長ニ適ス」トカ
「通信掛ニ適ス」トカ又ハ「事務的業務ニ適ス」トカ一歩
突キ込ミタル判決ヲ下ス様ニセラレ 聽テ此等ノ綜合力

戰時職ノ命課ヲ適切ナラシムル如ク致シ度

三 動員ト召集トノ連繫

動員ト召集ト特ニ緊密ナル連繫ヲ要スルコトハ申ス迄モ
ナキ所ニシテ時局ノ關係ハ愈々其必要ヲ痛感スル次第
ナリ然レニ往々ニシテ動員計畫上ニ於テ必要ナル
ルヘキ人員ヲ復習ノ爲メ召集シ又ハ召集ノ結果ヲ直ニ
動員計畫上ニ利用スルコト等ニ於テ未ダ十分ニ行ハレザル點アリ
之等ハ師團並聯隊ニ於ケル動員及召集主任者間ノ
連繫協同行ハレサルニ起因スルコト多シ特ニ今年明年ニ

實施スヘキ補備教育ノ如キ動員ト召集トノ緊密ナル
連繫ナラシメテハ到底其成果ヲ収メ難キヲ以テ時局上相
互間ノ連繫協調ニ就テハ特ニ指導サセラレ度

四 在滿在郷軍人ニ對スル書類整理

滿洲ニ於テモ戰時召集ヲ實施ス爲メ在滿者ニ對スル在
郷軍人名簿ヲ準備シテ、滿洲國成立以來在郷軍人
ノ渡滿者増加シ此等渡滿者其届出ヲ怠リ又ハ内地聯
隊區司令部ヨリ送付ノ書類ニ不備アラハ其都度
在郷軍人ヲ紛失スル結果ト尤ヲ以テ司令部ノ仕事

ハ勿論管下在郷軍人ノ教育指導ニ方リ十分ノ注意アリ度

尚朝鮮、臺灣ニ就キテモ同様ナルニツキ申添フ

五、補備教育ト動員

今明年、實、施スヘキ補備教育ハ直接明日ノ戦争準備トシテ動員兵力 増加ノ爲ノ不足人員ヲ補フ速成教育ナルヲ以テ此教育ノ爲ス人員ノ選定召集及教育後ノ整理即チ人員充用上ノ處置等完備セサレハ折角ノ施設モ其意義ヲ失ヒ動員ニ直ニ支障ヲ來ス次第ナルヲ以テ特ニ

動員、召集關係業務ニ就キ督勵指導セラレ度

六、幹部ノ動員ニ関スル識能

一朝有事ノ際ニ於テ動員ノ實施ヲシテ支障滋滯ヲ生シル爲スル幹部ノ動員ニ関スル識能ヲ高ムルヲ必要トス然レトモ動員ニ關スルハ動員ノ研究高遠ナル學理抽象的理論ノ研究ニ趨リ漠トシテ捕捉シ難キモノ多クキヲ認ム各隊ニ於ケル動員ノ研究ハ卑近ナル實際問題ヲ捉ヘ實施ニ方リ支障ナキヲ至眼トセシメラレ度又將校モモハ年度動員部隊ノ編制裝備應召員

ノ素質等ニ関シ理解ヲ有シ部下ノ教育演習ニ際シ之
ヲ活用シ平時ノ練成ヲ一層實際的ナラシムルノ着意ヲ有スル如ク
指導セラルレ度

七、動員書類ノ取扱

時局柄戦争準備ニ関シ諸外國ノ諜報頗ル尖鋭化
シツアル現況ニアルヲ以テ殊更動員関係書類ノ取
扱ヲ慎重ニシ軍事機密ノ漏洩ヲ絶對ニ防止シ苟
且ニモ不注意ニ基キ重要書類ヲ紛失スルカ如ク
不祥事ヲ惹起サルコトニ関シテハ特ニ監督指導ヲ

嚴密ニセラルレ度

第二、警備ニ就テ

輓近時勢ノ推移ニ伴フ國民思想ノ趨向ハ大ニ注意ヲ要
スルモノアルト戦時ニ於ケル敵國ノ諜報宣傳及謀略等ノ
益々熾盛ナラントスルノ傾向トハ將來戦ニ於ケル戦争
ノ範域期間ノ擴大ト相俟テ有事ノ日ニ於ケル國內警備
ノ重要性ヲ増大セリ

戦時警備ニ就テハ曩ニ戦時警備計畫令同細則ノ制定ヲ
見ルモ各部隊ノ計畫ニ徴スルニ其解釋適用ニ於テ或ハ

一部ノ誤解ナキヤリ懸念セラルルヲ以テ戦時警備
計畫令、同細則中重要ナル事項ニ就キテ、別冊ヲ以テ若
干ノ註釋説明ヲ印刷配布セルヲ以テ参考トセラレ度
戦時警備ノ主働ハ勿論軍部殊ニ兵力ニ為スルハ勿
論ナルモ軍部ノ計畫並ニ準備ハ其本務ノ性質上何
等實施ニ懸念ヲ要スルコト無キヲ確信スルモ軍部
外諸機關諸施設ヲ對照トスル計畫準備事項
ハ未ダ濫觴域ニ在ルヲ以テ地方ニ於ケル戦時警
備ノ効果ヲ定ムル為各位ノ盡力ニ俟ツモノ多シト

信ス

今や時局重大ノ秋ニ際シ國內ニ於テ間然スル所ナキ
警備力ヲ速カニ整備スルコトハ喫緊事ト信スルヲ
以テ左ニ必要事項ニ就テ所見ヲ開陳セントス

一 地方側戦時警備計畫ノ促進ニ就テ

現下内外ノ情勢ハ一日ノ儉安ヲ許ササルヲ以テ此時
報ニ際シ國內警備ノ責ヲ分ツモノハ向後如何ナル情
況ニ際會スルモ確信ヲ以テ安寧秩序ヲ確保シ
警備ノ目的ヲ達成スルノ自信ナルヘカラス 然ルニ戦時

警備ハ軍ニ若干ノ兵力ヲ配置セルノミニテハ到底十分ナル目的ヲ達成セラレサルモノニシテ軍部外ノ各種施設ト各種警備機關トヲ一途ノ方針ノ下ニ極メテ合理的ニ利用シ盡シテ初メテ其目的ヲ達シ得ルモノナリ然ルニ此點ノ按配ニ就キテハ從來ノ仕事ハ甚タ幼稚ナル程度ニ在ルノミナラス地方側ニハ消極的防空ト併セ計畫セシムル必要アリ之ニ對スル軍部ノ指導モ亦未タ徹底ヲ缺キ居タルモノアリ而シテ此等地方側ノ計畫及其指導ハ軍自体ノ計畫トハ其趣ヲ異ニシ法の根據モ少クノ

又地方ノ特種事情モ加ハリ相當困難ヲ伴フモノト信スルヲ以テ軍部自ラ此等ノ指導ニ工夫ヲ凝スト共ニ機會ヲ利用シテ軍部外ニ此等ノ氛圍氣ヲ醸成スル如ク不斷ノ盡力ヲセラレ度

二 警備上在郷軍人會ノ指導

警備上在郷軍人會ノ指導ニ就テハ昨年末陸軍省副官通牒ヲ以テ上司ノ意圖ヲ指示セラレタル^モ之カ具体化ハ今後ノ業務ニ屬スルモノ甚カラス即チ軍部外諸團體ヲ使用スルニ當リテハ此等團體ノ素質等ニ鑑ミ夫ニ適當ナル任務ヲ

附與スヘキ勿論ナルモ結局在郷軍人會ハ戰時其大部
召集セラルル場合ニ於キテモ尚強カナル地方的一團體ニ
シテ軍部トノ連繫上ヨリモ之ニ依リ軍警備力ノ不足
ヲ補ヒ又ハ地方自衛機關ノ得意トセル重要任
務ニ服セシムル如ク致シテ度

三 地方自衛團體等ノ指導

在郷軍人會以外ノ地方自衛團體等ハ其素質モ區クニシテ
漸ク火災盜難ノ豫防ニ任シアルノ程度ノモノ甚カラザルヲ以テ
軍ノ使用シ得ルモノハ在郷軍人會ヲ除キテハ皆無ノ地方

モ多クアリ然レトモ直接地方町村ノ利害休戚ニ關スル警
備ハ其町村自ラ之ニ任シ自治ノ精神ニモ添ク如クセシムル爲
現今大都市ニ於テ編成セラレシムアル防護團ノ如キモノヲ逐次
普及セシメ地方ノ各種警備ニ任シ得ル如ク指導致シ度、
從テ新ニ之等防護團ヲ組織スル場合ニアリテハ良ク軍ノ
意圖ニ添フ如ク規約其他ヲ作為セシメ努メテ健全ニシテ
能力アルモノヲ作り上クル如ク盡力セラルハヲ希望ス
而シテ此地方自衛團ノ組織ニ當リ必要ニ應シ在郷軍人
會ヲシテ一部會員ヲ割愛セシムルハ一向差支ナキニシラス

此等團體ノ健全ナル發達上寧テ口觀迎スル所ナリ
尚既ニ之等團體ノ編成ヲ見タル地方ニ於テモ軍ノ意
圖ニ添ハサル點甚カラサルアルヘキヲ以テ之等ハ機會ヲ求テ
適宜修正指導セラルルヲ希望ス

四 軍部外諸機關ニ準備セシムヘキ事項

軍部外諸機關ニ準備セシムヘキ程度ニ就キテハ準備スヘ
キ事項ノ種類等ニヨリ勿論差異アルモ苟モ軍ノ警備力ノ
不足ヲ補ハシメ又ハ軍ノ利用ニ必要ナル施設ヲ提供セシム
爲ニハ軍ノ欲スル程度ニ十分ノ準備ヲ完了セシムル如

ク希望スルモノニシテ殊ニ戒嚴令ヲ令セラレサル場合ニ処
スル爲 此注意ヲ必要トス 然ルニ之等諸機關ハ軍隊
ト異リ其組織及指揮系統等十分ニ確立シテアルヲ以
テ相當程度ニ周到ナル準備ヲ爲サレハ動モスレハ團體
ハ烏合ノ衆トナリ實施ハ齟齬ト矛盾トヲ以テ終始セ
サルヘカラサルニ立テ至ル虞アリ 從テ少クモ之等團體ノ幹
部ハ其任務、團體ノ部署所、要材料ノ整備關係、機關ト
ノ連繫、協調、其他宿營給養等事項ヲ確知シ置ク外必
要ナル團員ニモ各、其爲スヘキ事項ヲ承知セシメ一旦警備ニ就

ノ場合ニハ自信ヲ以テ各其準備又ハ心掛ケアリシ事項遂
行スル如クナルヲ理想トス此際注意ヲ要スルコトハ警備ニ任ス
ル軍隊トノ密接ナル協調連繫ニシテ殊ニ同一地ニ於テ同一
任務ニ就クヘキ各種警備機関ノ能ク統制セラレタル警備ヲ
行フコトニ関シテハ豫メ十分ナル協定ヲ遂ケ置クヲ必要トスルヲ
以テ道廳内務部警察部學務部等ニ對シテハ師團ニ
於テ連繫協調スヘキヲ以テ軍隊並聯隊司令部等ニ於テモ機
會ヲ求メ其管内諸機關トノ連繫ヲ密ニセラレ度

五、地方側警備計畫立案上軍計畫内容開示ノ程度

軍部外諸機関諸施設ヲ十分ニ利用シ所要ノ準備ヲ真劍
ニ行ハシムル爲ニ軍警備計畫内容ノ一部及防空計畫上ノ
監視哨防護、通信燈火管制等ニ就キ必要ナル事項ハ之ヲ
地方側ニ開示スルハ蓋シ止ムヲ得サルヘシ

例ヘハ防空監視ノ位置人員連絡法又ハ橋梁隧道等ニ配置
セシムル警備員ノ數、又ハ警備法等ニ就テハ之ヲ擔任セシムル
部外團體ニ明確適切ニ開示スルハ差支ナシ然レトモ又一面開
示ノ程度ニ就キテハ必要ノ最下限トナシ且開示スヘキ團體素
質乃至團體内ノ各級職責等ニ應ジ斟酌スル外ナルヘク局

地ニ於ケル小單位ノ團體毎ニ各別ノ任務ヲ與ヘ第三者ヨシ
テ其綜合ニヨリ容易ニ全般ノ要點ヲ窺知セシメサル様致
シ度

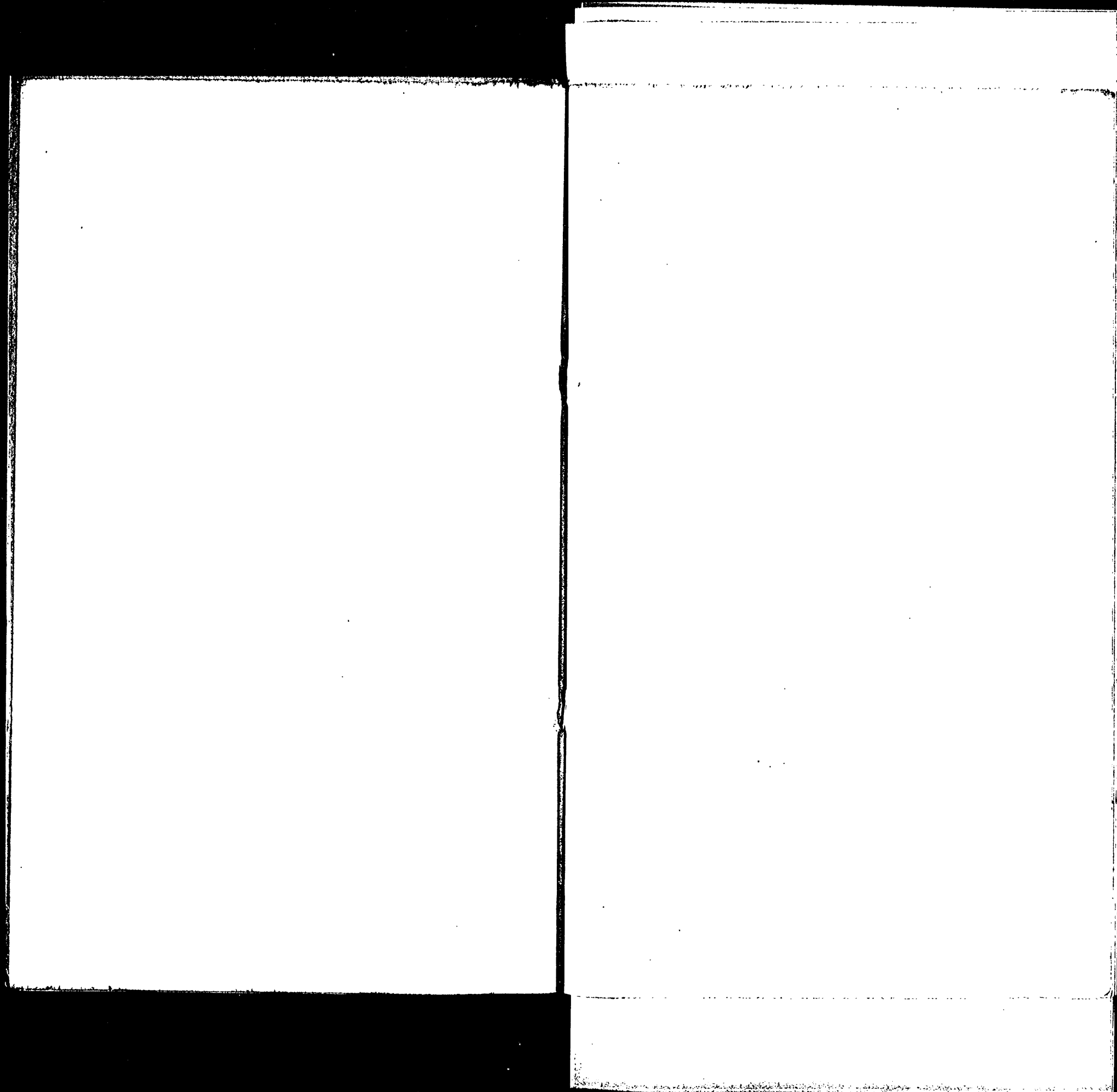
六、地方警備演習ノ指導

地方諸團體ノ使用ニ関シテハ上述ノ如ク豫メ之ヲ準備セ
シムル事項ハ甚カラサルモ之等ハ多ク紙上ノ計畫ニ止リ易ク
諸團體ノ戰時事象等ニ方リ早速此計畫ヲ實行シ克
ク協力一致各種警備ヲ一途ノ方針トシテ整然ト實施
スル點ニハ尚多大ノ懸念念キ能ハス從テ恰適ナル機會ヲ

捉ヘ演習ヲ實施セシメ之カ演練ヲ行フコトハ甚ク貴重ナ
ルコトナリ即チ各種記念日ノ催又ハ軍隊ノ諸演習等ニ
連繫セシメ地方毎ニ實施セシムルヲ一好機ナリト信ス蓋シ非
常時ニ於ケル地方側ノ警備實施ハ平素準備ノミニ止メタル紙
上ノ計畫ヨリモ寧ロ實地ノ經驗ヲ有スル演習ノ方 總テノ
行動ノ準據タリ得ヘシ 但シ之等演習ヲ實施スル場合ニハ爲シ
得ル限り之ヲ指導シ動モスレハ軍部ノ意圖ニ及シ要
點ヲ逸シ不統制ナル才祭騷ノミニ終ラントスルノ弊ヲ
矯正ニ努ムルハ當然ノ事ナリト信スルヲ以テ適宜指

道
号
レ
度

信
号
レ
度



SHIPPING ADDRESS # 7-120
SACK # 35
ITEM # 35

